



## モノからヒトへの挑戦～患者のための薬学的介入の実践～

かかりつけ薬剤師・薬局の推進、対物から対人への業務シフト、調剤後の継続的な服薬状況の把握・指導の義務化、認定薬局制度の施行など、薬剤師の業務は大きく変化しています。今年度は、これからの薬剤師に必須の臨床実践能力や高い専門性の獲得・向上を目標に、薬学専門基礎知識を臨床に繋げた講座を「痒み」「ダウン症」「亜鉛」の3つのテーマで開講します。

**開催日程** 2022年5月22日(日)、6月12日(日)、7月10日(日)

**開催場所** 京都薬科大学 躬行館3階 T31講義室

**定員** 300名(予定) **受講料** 12,000円

**認定単位** G24 計9単位 (3単位/日、1単位/演題)

**申込受付** 2022年3月1日(火)～5月9日(月)

**申込方法** ホームページよりお申込みください。  
<https://skc.kyoto-phu.ac.jp/>

開催日	10:00～11:30	12:30～14:00	14:15～15:45
2022年 5月22日 (日)	痒み、どうして起こる?～臨床と基礎の立場から～		認知症患者の診療と 地域生活の支援  京都府立医科大学大学院医学研究科 精神機能病態学 教授 成本 迅 先生
	皮膚の痒みの臨床 京都府立医科大学大学院医学研究科 皮膚科学教室 教授 加藤 則人 先生	痒みの発生メカニズムと 薬物治療 京都薬科大学薬理学分野 准教授 藤井 正徳 先生	
2022年 6月12日 (日)	ダウン症候群はどんな病気? 新型出生前診断?～臨床と基礎から解剖する～		地域連携における薬剤師の役割  県立広島病院 薬剤科 笠原 庸子 先生
	出生前検査とダウン症候群 国立成育医療研究センター副院長 周産期・母性診療センター長 左合 治彦 先生	ダウン症治療法確立を目指した モデルマウスを用いた基礎研究 京都薬科大学病態生化学分野 准教授 石原 慶一 先生	
2022年 7月10日 (日)	腸疾患と亜鉛欠乏		知っておきたい! 高齢者の口腔と 「食べる力」の変化 ～薬剤師としてのアプローチ～  公立能登総合病院 歯科口腔外科 部長 長谷 剛志 先生
	亜鉛欠乏と腸疾患 京都府立医科大学大学院医学研究科 免疫栄養学講座 教授 内藤 裕二 先生	亜鉛の働きと亜鉛欠乏による諸相 京都薬科大学代謝分析学分野 教授 安井 裕之 先生	

※演者、演題は変更される場合があります。

【重要】COVID-19の状況により、開催日、会場、定員、実施方法等に変更が生じる可能性があります。最新情報、詳細は必ずホームページ (<https://skc.kyoto-phu.ac.jp/>) をご確認ください。

